

国土交通省技監 谷口 博昭

んだことはいろいろあります。例えば「いったんやめたことは戻ってこない。だから瞬間瞬間の積み重ねを大事にしなければならぬ」とか「諦めないことが何より大切」の大切さです。若手技術者には、この精神力がや

## 「現場」との情報共有を

特にコミュニケーションの重要性は増していると思います。国土交通省で言えば、本省、地方整備局、出先の事務所、そして現場。これらが、連絡をさらに密にし、情報を共有していくことが、

仕事は常に「現場に原点がある」と考えていまのフィールドバックが不可に感じます。

す。大学卒業後、建設省(当時)に入省して間も、現場の仕事は不安もつ重要な心得として「3に仕事をやるのではなく茨城県に出向し、現きまとい、苦労の連続のつこのC」ということを言う、国民のためにしている訳です。国民の考えと

現場の仕事から社会人のスタートを切りました。今々々々でした。でも「自ら考タイプ(創造)、チャレ遊離しない事業実現のため、この時の得がたい体えたことが日々実現してンシ(挑戦)、チェンシめには、現場を原点とする、経験が大きな財産にいく喜び」が大きく、現場は大好きでした。そのは、これにコミュニケーション(連絡)とクリー

ものづくりの最前線で学経験で得た教訓は、先輩シオン(連絡)とクリーることが肝心です。